

速算 固体内温度変化 v.1.0 使用マニュアル

この度は、本製品をご選択ありがとうございます。

使用前の準備

速算 固体内温度変化 v.1.0 を起動するためには、以下の準備が必要です。

(既に、弊社の製品を使用されている場合は、不要です。)

1) Microsoft .NET Framework 2.0

を以下のサイトからダウンロードし、インストールしてください。

(サイトへリンクしていますので、以下の文字列をクリックできます。)

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=0856EACB-4362-4B0D-8EDD-AAB15C5E04F5&displaylang=ja>

windows vista を使用している場合は、必要ありません。

2) Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack (x86)

を以下のサイトからダウンロードし、インストールしてください。

(サイトへリンクしていますので、以下の文字列をクリックできます。)

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=39C8B63B-F64B-4B68-A774-B64ED0C32AE7&displaylang=ja>

以上で準備完了です。

(いずれも、ショートカットを同封致しました。)

起動方法及び、使い方

速算 固体内温度変化 v.1.0 の起動方法は、アイコンをクリックするだけです。

TAB キーを押すごとに入力項目 BOX を移動できます。

- | | | | |
|-------------------|----------|---------|--------|
| 1)熱伝達率 | 2)鉄材初期温度 | 3)冷却風温度 | 4)鉄材板厚 |
| 5)求める温度鉄材中心面からの距離 | 6)時間 | 7)計算 | |

「+0.5」ボタンで、時間設定を 0.5(秒)増やせます。

使用方法是以下でも掲載しております。

http://www.greatrc.jp/products_service/kotainai_onndohennka.htm?manual

入力可能範囲及び、計算前提

本計算は、板の側面積が冷却面積に比べて十分小さいと仮定した上での計算を算出しています。加えて、板の側面付近温度は対象外です。

冷却を扱うため、板の初期温度より低い温度の流体温度のみ設定できます。

当然、板内部の位置は板厚み半分以下において設定可能です。

(上記はソフト内下部のウィンドウに表示されます。)

使用した理論式、物性値

(製品版のマニュアルに記載)

その他

ご質問、ご意見はメールにてお願いいたします。

trial-soft@future-engineer.jp

2009 年 8 月 25 日

株式会社 Future Engineer
代表取締役社長兼 最高技術責任者
新川智英